



海南校舎 MONTHLY TIMES

3月号 平成23年3月24日発行

第63回卒業式

冷たい小雨が降る3月1日。海南校舎の卒業式がとりおこなわれました。約1時間40分の間、厳粛で温かな式が進み、学校長は式辞で森信三氏の「時を守り、場を淨め、礼を正す」の三原則を示し、はなむけの言葉を贈りました。来賓の方々の祝辞の後、2年生の兼平生徒会長のしみじみとした語りの送辞に続き、山本前生徒会長が見事な答辞を読み上げました。卒業生はもちろん教職員も目頭を熱くし、生徒達の成長を喜びました。たくさんの方々からご祝福をいただき、ありがとうございました。



総合優勝!! 1年B組

3月14日、第2回クスマッチを行いました。開会に際して、大震災にて被災された方々へ黙祷を捧げ、校長から自然災害の怖さとともに心構えや我々ができる援助についての講話がありました。

試合の方は真剣な中にもお腹を抱えて笑ってしまう場面もあり、クラス替えを前にしての最後の良き思い出づくりができました。生徒会の諸君、お疲れさまでした。



夢の実現に向けて

3月15日、1、2年生対象に進路ホームルームを行いました。大学進学志望生徒は受験に向けての心構えに関する講演を、専門学校、公務員、就職希望生徒は個別に設定したブースにて説明を聞き、目標実現のためにやる気を奮い立たせていました。



シーズンの幕引き

国公立大学の入試が全て終了し、大学入試シーズンも幕を閉じました。悲喜こもごもの風景が毎年見られますが、いつも「あと1年、あと半年、あと1月早くスパートがかかっていたら」という生徒を見ると、我々の力不足を感じてしまいます。でも、人生の本当の勝負(人生に勝ち負けはないですが)はこれから。とりあえずの夢を叶えた生徒も、残念な結果になった生徒も、これからの頑張りに私たちは期待し、応援を続けます。本校の結果については進路だよりにてご報告をします。

シーズンの幕開け

一方、23年度に海南校舎に迎える新入生の発表が3月18日に行われました。大勢の中学生が早くから校門付近に集まり、発表とともに歓声が上がりました。残念ながら、出願をしてくれた生

徒を全て受け入れることはできず、涙を流させてしまった生徒にはぜひ別の場所での活躍を期待してやまず、そして、願いが叶った生徒には、ぜひとも不安から解放されたこの瞬間の感激を忘れずに高校生活に臨んでもらいたいと願っています。今現在、初心を思い出してもらいたい1,2年生も少なからずおりますが…。



吹奏楽部 定期演奏会

第30回記念の吹奏楽部定期演奏会が和歌の浦アートキューブにて開催されました。学校長の挨拶に続き1時間40分間のすばらしい演奏が行われ、会場を埋め尽くした観衆からは大きな拍手が贈られました。

「どうせ無理」この言葉を消せ

3月23日、北海道の町工場でロケット開発を行っている植松努氏をお迎えしてSSH講演会を開催しました。90分間の講演中、終始我々(生徒も教員も)のやる気を喚起するお話が続き、生徒の目がさらに輝いてきたように見えました。

最後の講義

今月末をもって、宮井利治校長をはじめ数学の片山英樹先生、社会の森本正作先生の3名がご退職になります。森本先生は3月18日、片山先生は3月23日に最後の授業を行い、授業終了と同時に生徒や駆けつけた職員から大きな拍手とともに、花束が贈呈され、お二人の目には光るものが見えたような気がしました。ありがとうございました。



東北関東大震災に関する義援金のお知らせ

東北関東大震災により被災をされた方々、ご家族の皆様、心よりお見舞いを申し上げます。

海南高校では生徒会が中心となって義援金を募っています。JR海南駅前及び松源海南日方店、オークワ海南幡川店にて募金活動を行っていますが、校内でも受け付けております。ご協力いただいた義援金は日本赤十字社を通して被災地にお届けします。



なお、本校で受け付けさせていただくのは現金のみとさせていただきます。

4月の予定

- | | |
|---------|--------------------|
| 6日 | 離任式 |
| 7日 | 始業式・新任式・入学式 |
| 8日 | 対面式・クラブ紹介・リエンテーション |
| 11日 | 宿題考査 |
| 12日 | 身体測定 |
| 15日 | クラブ登録 |
| 22日 | 3年遠足 |
| 23～5/5日 | 集中学習 |